

来たれ！農場めぐりあい

代表者 渡部幹菜（農学 B1 年）
構成員 磯部鈴音（農学 B1 年） 佐々木結香（農学 B1 年） 和田朋美（農学 B1 年）
渡邊七海（農学 B1 年）

1. プロジェクトの目的

『来たれ！農場めぐりあい』は、今日の情報化社会の中で、農業を通じたコミュニケーション「農コミュニケーション」をとることで、学生や教職員など学内だけでなく、地域も含めた多くの方に自然や人との関わりを感じてもらうことを目的とする企画です。3年という期間でこの交流の輪を広げられるように1年目ではその基礎を固めます。この目的のため、大きく分けて次の2つの活動を行います。1つ目は、野菜づくりです。山口大学の附属農場をお借りして、「土づくり」「野菜育成」「調理方法研究」「片付け」を行います。2つ目は、オープンキャンパスと農場祭で野菜販売や調理販売を行い農業の素晴らしさを知ってもらいます。来年度学外でも農業体験等を行えるよう知識や技術、情報、人脈を得るため行います。



2. 八代田植祭

5月20日に周南市八代で開催された第4回八代田植祭に参加しました。メンバー5人揃っての参加です。

午前中は田植えを行い、現在の農業技術について学びました。午後は周南市つるの里交流センターで、地元の方々が振る舞う「豚汁」と「おにぎり」を美味しく頂きました。その後、田植え祭に参加した全員でビンゴ大会を行いました。とても大盛り上がりでした。メンバー全員ビンゴ景品が当たりました。参加賞として、全員に八代でつくられたお米を1人1キロずつ配られました。午前は田植え、午後はビンゴ大会と1日中楽しめるイベントでした。メンバー同士の仲も深めることができ、本当に良かったです。



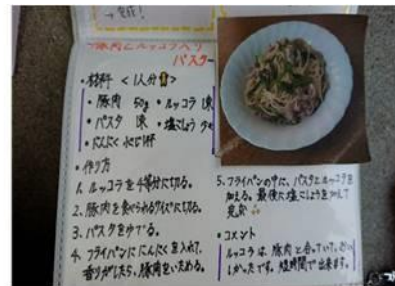
3. 夏野菜栽培

6月28日に夏野菜(安納芋, 金時芋, オクラ, トマト, キュウリ)の植え付けを来たれ!農場めぐりあいのメンバーと協力して行いました。7月3日には台風襲来に備えて, 畑のトマトに支柱立てを行いました。キュウリは完全に, トマトは一部分台風の被害に遭い, 収穫は厳しい状態でしたが, オクラは想像を上回るほど大きくなり, たくさん収穫することができました。安納芋と金時芋は11月に来たれ!農場めぐりあいのメンバーと様々な学部, 留学生の方などと芋掘りを予定しています。自然のなかで野菜を育てることの厳しさから様々なことを学び, みんなで育てた野菜ができたときの喜びや感謝の気持ち, 農業の大切さをあらためて感じることができました。



4. オープンキャンパス

8月4日にオープンキャンパスが開催され, 私たち「来たれ!農場めぐりあい」も参加しました。大学に来てくださった高校生や保護者の方々に「来たれ!農場めぐりあい」の活動についての説明と温室でとれた乾燥バジルの配布を行いました。活動内容や目的, 野菜作りの楽しさなどを自分の言葉で伝えるのは, 難しかったのですが, そういうものを改めて認識することができて, 良かったです。乾燥バジルは, いい香りがする, 色がきれいなどの感想をいただくことができ, 私たちの努力が実を結んだように感じました。



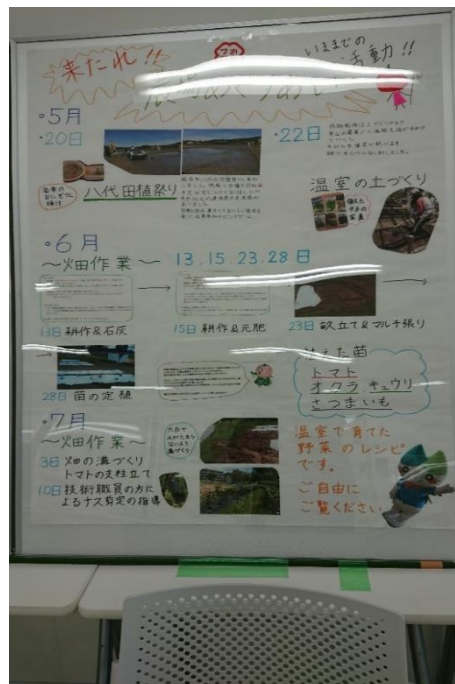
5. 冬野菜栽培

10月11日、冬野菜の種まきをしました。8月に夏野菜の定植を行ったときは参加者が農学部からしかいなかったのですが今回は農学部に加え経済学部、人文学部からも参加者がおり、ほぼ初対面の人と種まきをするのは新鮮でした。夏野菜を育てたときは野菜作りをするのが初めてだったこともありやりかたが分からず戸惑ったり、雑草を放置して大繁殖させてしまったなどの失敗がありました。そのときの経験を生かして冬野菜を育てていきたいと思います。



6. ホームカミングデー

10月27日、来たれ農場めぐりあいからメンバー4人が参加しました。他のおもプロのグループの方と互いの活動を紹介しあったりして交流をしました。当たり前ですが同じおもプロでも全く違う活動をしていて新鮮でした。また、この日会った人に来たれ農場めぐりあいの活動に参加してもらおうことも決まりました。交流の幅が広がり参加してよかったです。



7. おわりに

これらの活動を通して、当初考えていたよりも多くの方々と出会うことができました。農業というものは非常に奥が深く、難しいものだと、活動をしながら痛感しています。しかし、だからこそやりがいがあり、喜びも大きいのです。その喜びや農業のすばらしさ、やってきた努力を多くの人に知ってほしいという想いで、今後の活動も行っていきたいと考えます。まだまだ勉強すべきことが沢山あるので、一つ一つ身に付け、自分たちも周りも楽しめるような、感じるものがあるような活動にしていくため、努力していきます。